



目次

はしがき008
序文010
第1部 序章013
第1章 西欧の研究者による先行研究014
第2章 チベット語資料042
古典的文献042
近代のチベット人による著作057
第2部 偉大な絵師たちの絵画様式とその伝統 ——歴史的概観069
第1章 チベット美術史初期に活躍した 絵師たちと彼らの様式について070
12世紀から13世紀初頭にかけて活躍した絵師たちについて070
法論の主題としての仏教美術072
13世紀中期から14世紀を生きた何人かの権威者たち、絵師たち074
元朝中国美術の席卷075
シャル寺の学僧プトゥン・リンチェントップ075
ゴル僧院の庇護を受けたネワール人絵師たち077
純粹チベット様式の最初の出現081
ツァン地方における初期の絵師たちの名前082
第2章 15世紀初頭、ツァン地方で活躍した絵師 チェウとその他二人の重要人物089
チェウに関する伝統的記録089
ポトン・パンチェンとラトゥー・チャンの君主093
ラトゥー・チャン出身の卓越した金細工師、仏師たち096



第3章—メンタンパ・メンラトゥントップと彼の流儀を受け 継いだ初期のメンタンパの絵師たち101
ネーニン、ネーニン蔵の中国製軸装画、そしてギャンツェ102
メンラトゥントップの論説106
注目すべき壁画制作その他の業績107
絵師メンタンパと彼の作品についての補足109
メンラトゥントップの画風110
メンタンパの流れを汲む初期の絵師112
木版画にみられるメンリ画派の作例の初期の形跡114
第4章—コンカル僧院のキェンツェと彼の伝統128
キェンツェの様式の特徴131
直弟子たち、そして後代の継承者たち132
遅れてやってきたキェンリ画派の復興者、イエシェーテンジン135
第5章—カルマ派陣営の絵画伝統140
ナムカータシーの最初の師匠、エ地方のクンチョクパンデ140
ナムカータシーの受けた中国美術の影響141
年代推定の資料143
その他のカルマ派陣営初期の絵師たち145
第6章—16世紀および17世紀、絵師テンカワと その他の注目すべきメンリ画派の絵師たち150
テンカワあるいはリカルワ150
デンマ出身の絵師サンギェラワン151
ドクチェン・ペーマカルボとその他二人のドク派高位僧たち153
16世紀中期から17世紀後期の中央チベットのメンリ画派の絵師たち154
チョナンにおける芸術活動155
第7章—ダライラマ5世とデシー・サンギェギャンツォに 保護を受けたメンリ画派の絵師たち217
チョカン大招寺とラモチェ小招寺の修復219
ダライラマ5世の著述と研究220
スルチェン・チューインランドル221
デシー・サンギェギャンツォの庇護を受けた絵師たち223



第8章—ツァンパ・チューインギヤムツォの新メンリ画派 ……229	
チューインギヤムツォの施主となった人たち ……229	
チューインギヤムツォの様式の特徴 ……231	
新メンリ画派のその後の普及と影響 ……237	
第9章—カルマ黒帽派10世チューインドルジェ ……241	
仏教美術の初歩を学ぶ ……241	
チューインドルジェの画風 ……243	
第10章—画僧シトゥ・パンチェン・チューキジュンネー ……251	
若き日の探求 ……251	
後年、彼がその制作を指示した仏画の数々 ……252	
シトゥがひいきにした絵師ジェトウ・ツェワンタクパ ……255	
シトゥ・パンチェンの「肖像画」 ……257	
シトゥ・パンチェンの残した美的遺産とそれを受け継ぐ弟子たち ……259	
第11章—チュータシーとカルマタシー、 そしてカルシユーパ ……264	
チュータシー ……264	
カルシユー・カルマタシーとカルシユーパ ……264	
第12章—デンマ出身のシュチェン・ツルティムリンチェン ……272	
若年期の学歴 ……272	
成人期の作品と関係事業 ……275	
第13章—いくつかの近代地方様式について、 若干の解説 ……284	
アムド地方 ……284	
カム地方 ……286	
デイクン ……297	
南部および南東部チベット、そして国境域 ……298	
キロンおよびガリ地方東部 ……300	
ラダック ……304	
ツァン地方(タシルンボ僧院) ……306	
第14章—結び ……318	
画讃、あるいは作画指示書 ……319	
手本として発注された絵画 ……321	
木版画の役割 ……322	



第3部—付録 ……329	
付録—チベット語原文とその抄訳 ……330	
付録A—デシー・サンギェギヤムツォの記述 ……330	
付録B—デツマルゲシユー・テンジンブンツォクによる様式に関する記述 ……331	
付録C—シュチェン・ツルティムリンチェンによる記述 ……333	
付録D—スンプケンポ・イェシユーペルジョルによって記された記述 ……334	
付録E—カルマ派13世ドゥンドルドルジェの記述 ……335	
付録F—ロンドルラマ・ガワンロブサンによる記述 ……335	
付録G—グル・タシーの歴史書の記述からの抜粋 ……335	
付録H—コントゥル・ロトゥターイェーの記述 ……336	
付録I—ダライラマ5世による刊記とテンカワによる詩文 ……338	
付録J—絵画理論書『リモケン』に見えてきた絵画様式に関する記述 ……339	
付録K—シャカバによる記述 ……340	
添書 ……344	
地図 ……346	
参考文献 ……350	
人名索引 ……359	
地名索引 ……368	